

PCB を含む廃棄物の焼却実証試験の実施について



環境省は、PCB を含む廃棄物の焼却実証試験を実施することを発表しました。

PCB を使用していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むものが大量に存在することが判明しており、環境省はこれらの処理体制の整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量 PCB 汚染廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認してきました。

平成 18 年 3 月から平成 22 年 3 月にかけて、PCB を含む廃棄物を試験試料として用いた焼却実証試験を 14 箇所の施設で合計 27 回実施し、いずれも試験試料が安全かつ確実に処理されたことを確認してきました。

今回の内容については、以下の通りです。

<概要>

- 実施場所:神戸環境クリエート株式会社(兵庫県神戸市)
- 実施期間:平成 23 年 9 月 27 日~9 月 29 日
- 実施内容:PCB を含む廃活性炭及び防護服等並びに PCB 処理物を焼却し、処理後の燃え殻、排ガス及び周辺大気中の PCB 濃度等を分析することで、これらが適正に処理されていることを確認。本試験では燃焼ガスを 1,100℃以上で 2 秒以上滞留させて実施。

環境省では今後も、協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2011 年 9 月 20 日付 環境省報道発表資料

衛生技術箇所 五月女欣央

放射性物質の測定を開始しました!

福島第一原発事故を受け、高まる需要にお応えし、放射性物質の測定を開始しました。サーベイメータによる工業製品の表面汚染や、水・食品などの放射能測定、さらに 8 月末からはゲルマニウム半導体検出器を用いた核種ごとの精密測定も開始しています。